

“中小企業は社会の主役” [中小企業憲章]

中小企業魅力発信月間キックオフ行事 憲章・条例活用推進シンポジウム

2019年に制定された「中小企業の日」(7月20日)・「中小企業魅力発信月間」(7月)に向け、中小企業家同友会全国協議会(中同協)ではキックオフ行事を開催します。今回は「憲章・条例活用推進シンポジウム」として中小企業の存在意義や魅力・社会的役割をあらためて確認するとともに、中小企業の振興と地域社会の発展は一体であることなどを学び合う機会としたいと思います。ぜひご参加ください。

日時:2024年6月5日(水) 13:00~17:30

開催方法:オンライン(Zoom)

(参加申込のあった方に、前日に資料とURLをお送りする予定です)

対象:同友会会員、行政、金融機関、教育関係、労働団体など幅広く

会費:無料 申込締切:5月30日(木)



7月20日は中小企業の日

◆基調講演

「地域・中小企業の発展と憲章・振興条例の役割」

講師 大阪公立大学商学部 教授 本多 哲夫氏 (専門/地域経営論、中小企業論)

本多教授は中小企業論や地域経営論をベースとした「学び」のドラマづくりと公演活動に取り組んでいます。大学の講義でもドラマを教材に中小企業の役割などを解説しています。今回はその経験も生かして、中小企業憲章や中小企業振興基本条例の意義、中小企業と地域との関わりなどについて語っていただきます。

◆事例報告①(条例具体化の取り組み)

「条例の理念の具体化に向けて～行政との信頼関係づくりから始まった～」

報告者 丹野公認会計士・税理士事務所 代表 丹野 勇雄氏 (福島)

(いわき市中小企業・小規模企業振興会議会長)

いわき市中小企業・小規模企業振興条例は2016年に施行されました。条例の理念を具体化するため市内の関係機関を中心に振興会議が設置され、福島同友会いわき支部も参画。「いわき市中小企業・小規模企業支援ハンドブック」の作成、振興基金の創設、ビジネススクールや次世代経営者塾の開催などが進められています。

◆事例報告②(地域課題の解決に取り組む企業の事例)

「持続可能な地域をめざして～氷見の森の活用で未来をつくる～」

報告者 岸田木材(株) 代表取締役 岸田 毅氏 (富山)

富山県氷見市で製材業を営む岸田氏。地元の山林が荒廃する中、地元木材の活用をめざす「ひみ里山杉活用協議会」の結成、木育プログラムの実施、中高生を対象にした「ふるさと教育」への協力など、能登半島地震からの復興と持続可能な地域づくりをめざしてさまざまな取り組みを進めています。

《スケジュール》

13:00 開会

来賓あいさつ

中小企業団体・労働団体あいさつ

13:40 各政党からのコメント

14:30 基調講演(40分)

14:30 事例報告(20分×2)

16:00 グループ交流

17:30 閉会

◎お申し込み方法

お申し込みは各都道府県の同友会事務局までお願いいたします。(グループ交流の参加・不参加も登録をお願いします)

同友会会員以外の方は下記URLまたは右記QRコードにてお願いいたします。

<https://forms.gle/qEeq2evGTGJFQqCr7>



中小企業家同友会全国協議会

東京都千代田区岩本町 3-9-13

岩本町寿共同ビル 3F ☎ 03-5829-9335

<https://www.doyu.jp/>

主催:中小企業家同友会全国協議会(中同協)

後援:中小企業庁(予定)・中小企業基盤整備機構